

# 女性部通信



2015.12

こんにちは  
今年も早いもので一年の締めくくりの時期になりました  
クリスマスや大掃除と行事が続きますが  
元気に過ごしたいですね

11月5日～6日 JA北海道女性大会・北海道家の光大会 ガトーキングダム札幌にて

毎年、全道各地から約500名が集まります。  
各地区から家の光を活用した体験談が寄せられ  
その中から選ばれた3名による発表があり、  
1名が全国大会への出場権を獲得します  
翌日は各地の女性部の方々の  
手作り加工品や作品展示があります



今年の講演は次の方々でした。

「女性が真に輝く農業・農村を目指して」  
福島大学教授 岩崎 由美子氏

初めに被災地福島の実況報告があり、そこでは「人と人の分断」が  
大きな問題となっているそうです。しかし、以前から 女性の  
起業活動が活発だったため、彼嬢のネットワークを生かし、  
新たなプロジェクトを立ち上げ 地域の再生をめざしています。

一方、私達女性部に求められるものは何でしょうか？

男性社会から期待される「女性の活躍」は「目的」ではなく  
「手段」であって、そこに女性の主体性がありません。女性部  
には 女性の主体性を育む場であって欲しいです。



「みんなで支える在宅介護介護者にとっての～はつらつ人生のススメ～」  
JA北海道厚生連 福嶋 美奈子氏

日本は今、海外に類を見ない速く「超高齢化社会」に向かえよと  
しています。そのような中で「システム作り」が間に合っていないため、  
介護の現場にしわ寄せがきています。中には「ストレス」から  
事件に発展するケースも起きています。介護の問題は  
「自分もいつか介護される側になる」という事を忘れず、  
今から心構えとしておく事が大切です。特に重要なのは  
心の支えとなり、打ち明けられる他人を一人見つけておく事です。  
是非「仲間づくり」に女性部という組織を生かして欲しいです。



小さな町や村でさえ核家族化が進み  
地域の繋がりも薄れ始めています

携帯電話も普及して離れた知人と連絡  
を取り合う事も気軽に出来る時代ですが

どんな繋がりでもいいから  
自分が行き詰まった時に心のモヤモヤを  
聞いてくれる人、またそんな時に声を  
掛けてくれる人を見つけておきましょう

というお話でした。

この日、福嶋さん自身も、両膝を骨折し松葉杖  
を突きながらの登壇でしたが、またそれが  
妙に説得力があるお話となっていました。

## 12月の行事

- 4日 JA介護教室(厚生病院)
- 9日 フレッシュミズスポーツ交流会(タヒチアンダンスを体験します)
- 15日 女性部学習会～ヨーグルト&パン作り(地場産小麦粉や農畜産物、全粒粉等を使って作ります)
- 16日 喜楽会日帰り研修(観劇特別講演 筑紫桃太郎劇団を鑑賞)  
※参加者が15名以下の場合は中止となります
- 17日～18日 十勝地区女性協議会研修会(女性部各地区より1名)  
～オクラホマ河野真也氏によるトークショー  
～ホシナサオリ氏による研修会があります



## 11月18日 女性部日帰り研修

### フローリスト花ごよみにてタイルトレイ作り ～東乃雪にて昼食

活動を再開した女性部の最初の学習会は、参加者17名で帯広フローリスト花ごよみさんにてタイルトレイ作りを行いました



見本の作品を参考にして各々が図案を決め、それを真っ白なトレーに貼り付けながらの作業は、かなり細かい作業でしたが、時間に追われながらも黙々と進みました。最後にタイルの隙間にセメントが入ると、スツキリと見栄えのする作品が出来上がりました。

余裕をもって時間配分したつもりでしたが、昼食時間ぎりぎりになってしまい、ゆっくりと店内を見る時間はありませんでしたが、素敵な作品(販売品)が沢山ありました。



昼食は、ちょっと隠れ家的な歴史を感じるお店で豆腐中心の精進料理を堪能しました。バスで近くまで行くと、寒い中、お店の女将さんが笑顔で大きく手を振っている姿に心をつかまれ、店内は個室で、中庭が望め、遠くに旅行に行ってちょっとした料亭?!で食事をしているような優雅な気分になりました。



1月は部会があります  
女性部活動は自分作りです

元気でいきいきとした生活を送る為に

集まって、話をして、横のつながりをつくり、色んなことに取り組みながら、やりたい事、すべき事を考えていけたらいいなと思っています

いまから少しずつ、やってみたい事、行きたいお店、等々、情報集めの御協力をお願いします。皆さんのやりたい事を形にしましょう♪

また、地域に女性部が無くても、女性部活動に興味のある方は、事務局(経営課 藤井)までご相談ください。

